

秩序ある礼拝 1 コリント 14:36-40

1. 神のことばは、あなたがたのところから出たのでしょうか。あるいはまた、あなたがたにだけ伝わったのでしょうか。自分を預言者、あるいは、御霊の人と思う者は、私があなたがたに書くことが主の命令であることを認めなさい。もしそれを認めないなら、その人は認められません。(14:36-38)
 - a. これは修辭的疑問文で、答えはもちろん「いいえ、神のことばは私たちから出たものではありません」「いいえ、私たちにだけ伝わったものではありません」となるが、パウロが誰に向けてこの質問をしたのかは定かではない。
 - b. 文脈上はこれは「女は、教会で黙っていなさい。彼らは語ることを許されていません。律法も言うように、女は服従しなさい。もし何かを学びたいければ、家で自分の夫に尋ねなさい。教会で語ることは、女にとってはふさわしくないことです。(34-35節)」のすぐ後に来る。
 - c. ここでは特に難解な言葉が使われているわけではないが、パウロが何を言おうとしているのか文脈の中で理解するのは非常に難しい。聖書を正しく読むには文脈を正しく理解することが大切である。
 - d. この箇所についてはいくつか当てはまる文脈があるが、どの文脈に適用するかで意味はまったく違って来る。
2. それゆえ、私の兄弟たち。預言することを熱心に求めなさい。異言を話すことも禁じてはいけません。ただ、すべてのことを適切に、秩序をもって行ないなさい。(14:39-40)
 - a. この命令の目的は、人々に制限ではなく自由を与え、イエスのからだである教会全体を啓発することである。神は混乱の神ではなく平和の神だからである。
 - b. 礼拝が適切に、秩序をもって行なわれる時、想像をはるかに超えた結果を生み出すはずである。
 - c. 真の礼拝のあり方とその意味について今日はほんの少し表面に触れただけだが、真理を求め続け、聖霊によって礼拝し、イエスを頭とするなら、私たちの礼拝は健康的に成長し、この地上での目的を成し遂げることができる。

秩序ある礼拝 1 コリント 14:36-40

1. 神のことばは、あなたがたのところから出たのでしょうか。あるいはまた、あなたがたにだけ伝わったのでしょうか。自分を預言者、あるいは、御霊の人と思う者は、私があなたがたに書くことが主の命令であることを認めなさい。もしそれを認めないなら、その人は認められません。(14:36-38)
 - a. これは修辭的疑問文で、答えはもちろん「いいえ、神のことばは私たちから出たものではありません」「いいえ、私たちにだけ伝わったものではありません」となるが、パウロが誰に向けてこの質問をしたのかは定かではない。
 - b. 文脈上はこれは「女は、教会で黙っていなさい。彼らは語ることを許されていません。律法も言うように、女は服従しなさい。もし何かを学びたいければ、家で自分の夫に尋ねなさい。教会で語ることは、女にとってはふさわしくないことです。(34-35節)」のすぐ後に来る。
 - c. ここでは特に難解な言葉が使われているわけではないが、パウロが何を言おうとしているのか文脈の中で理解するのは非常に難しい。聖書を正しく読むには文脈を正しく理解することが大切である。
 - d. この箇所についてはいくつか当てはまる文脈があるが、どの文脈に適用するかで意味はまったく違って来る。
2. それゆえ、私の兄弟たち。預言することを熱心に求めなさい。異言を話すことも禁じてはいけません。ただ、すべてのことを適切に、秩序をもって行ないなさい。(14:39-40)
 - d. この命令の目的は、人々に制限ではなく自由を与え、イエスのからだである教会全体を啓発することである。神は混乱の神ではなく平和の神だからである。
 - e. 礼拝が適切に、秩序をもって行なわれる時、想像をはるかに超えた結果を生み出すはずである。
 - f. 真の礼拝のあり方とその意味について今日はほんの少し表面に触れただけだが、真理を求め続け、聖霊によって礼拝し、イエスを頭とするなら、私たちの礼拝は健康的に成長し、この地上での目的を成し遂げることができる。